



エコアクション21
認証番号0014215

2024年度版

エコアクション21 環境経営レポート

(対象期間：2024年6月～2025年5月)



株式会社トシエンジニアリング

発行日：2025年8月10日

更新日：2025年9月30日



目次

1.組織の概要	1~2
2.許可一覧	3
3.環境経営方針	4
4.エコアクション21 実施体制図	5
5.環境経営目標	6~7
6. 環境経営目標の実績（1年間の運用結果）	8~9
7.環境経営計画・取組結果と評価、次年度の計画	10
8.環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	11
9.代表者による全体評価と見直し	11

1. 組織の概要

(1) 名称及び代表者名

株式会社トシエンジニアリング

代表取締役 達山 俊仁

(2) 所在地

本社 / 東京営業所 東京都調布市多摩川3-34-4 エクセル恒洋101

(2025年6月1日より管理本部のみ下記へ移転)

東京都調布市西つつじヶ丘3-37-2 パークモダンつつじヶ丘 205号室

静岡営業所 静岡県浜松市中央区新貝町639-3 (2024年7月1日より移転)

静岡県湖西市新居町中之郷1536-2 (2024年6月30日まで)

鈴鹿営業所 三重県鈴鹿市追分町2251-8

(2025年6月1日より下記へ移転 鈴鹿営業所を廃止し三重営業所を新設)

三重県亀山市川崎町1615番2

河芸事業所 三重県津市河芸町大字三行大門166-1

(2025年6月1日より三重営業所へ統合、社員詰所として河芸車庫へ名称変更)

堺営業所 大阪府堺市美原区今井166-1

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

責任者： 管理本部 管理本部長 吉田 尚史

担当者： 管理本部 係長 上條 麻衣

連絡先： TEL：042-426-4655 FAX：042-426-4656

(4) 事業内容

設立年月日 1996年3月12日

資本金 1,000万円

事業年度 6月～翌5月

事業内容

- ・ 産業廃棄物・特別産業廃棄物収集運搬
- ・ グリストラップ清掃
- ・ 排水管高圧洗浄
- ・ 各種排水槽清掃
- ・ 浄化槽ポンプ点検・清掃
- ・ 貯水槽清掃
- ・ 床清掃
- ・ 害虫、害獣等防除

ホームページ <https://toshi-en.jp/>

1. 組織の概要

(5) 事業規模

	売上高	従業員数	延床面積	収集運搬量	車両台数
東京営業所	203,572千円	10人	119㎡	2,413,486kg	11台
静岡営業所	97,321千円	5人	19㎡	1,268,891kg	7台
鈴鹿営業所	379,518千円	12人	80㎡	6,195,680kg	16台
河芸事業所	212,954千円	7人	24.8㎡	13,899,115kg	9台
堺営業所	234,764千円	11人	58.3㎡	3,619,215kg	18台
全体	1,128,129千円	45人	301㎡	27,396,387kg	61台

※2025年5月31日現在

※上記従業員数は非営業部門の10人を除く

(6) 施設等の状況（車両一覧）

車種	台数
10 t 清掃車	3 台
7 t 清掃車	1 台
4 t 清掃車	9 台
3 t 清掃車	16 台
高圧洗浄車	10 台
10 t 積載車	4 台
3 t 積載車	3 台
1 t 積載車	1 台
10 t 着脱装置付コンテナ専用車	5 台
8 t 着脱装置付コンテナ専用車	2 台
4 t 着脱装置付コンテナ専用車	1 台
3 t 着脱装置付コンテナ専用車	2 台
営業車	10 台
合計	67 台

※2025年5月31日現在

3. 環境経営方針

【企業理念】

株式会社トシエンジニアリングは、「持続性のある社会形成に貢献し、働く仲間とその家族の幸福を実現する」ことを経営理念に掲げています。この経営理念とともに、産業廃棄物収集運搬事業、高圧洗浄・グリストラップ清掃および雑排水槽等の清掃事業を通じて、二酸化炭素排出量削減や環境負荷低減という循環型社会の実現に貢献することを環境経営方針の基本理念といたします。

この基本理念を以下の行動方針に基づき実践し、エコアクション21環境経営システムの継続的改善に努め、環境に優しい企業を目指します。

【行動方針】

1. 省エネルギー化を進めて、二酸化炭素排出量を削減し、地球温暖化の防止に努めます。
2. 廃棄物の削減に努めます。
3. 節水を進め、水使用量を低減します。
4. 環境に配慮した運転で産業廃棄物収集運搬業務に努めます。
5. 環境関連法規等を遵守すると共に、内外に環境改善への活動を約束し、環境経営レポートを作成し公表します。

社内の要所に本環境経営方針を掲示して、全従業員にエコアクション21環境経営システムを徹底します。

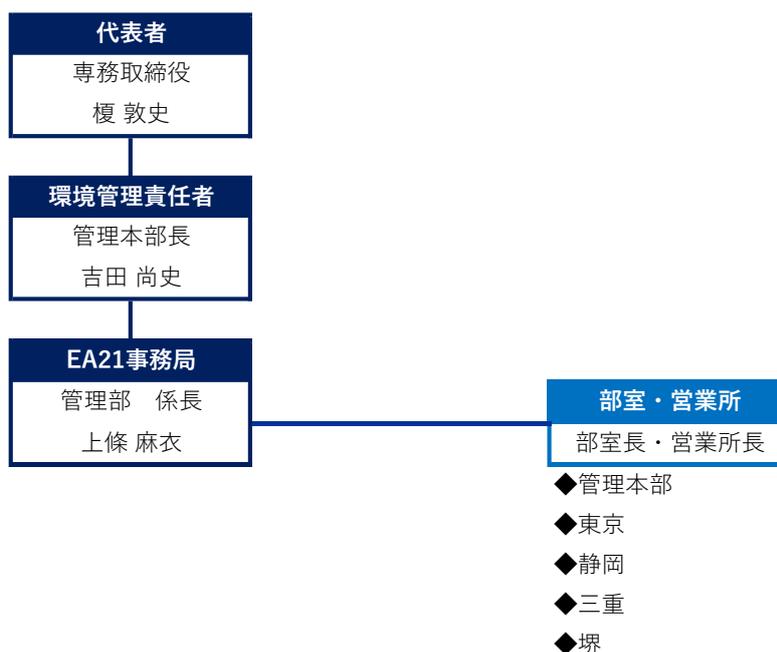
2023年5月31日



株式会社トシエンジニアリング
代表取締役 達山 俊仁

4. エコアクション21 実施体制図

2025年6月1日更新



【責任者の役割】

代表者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の制定及び見直し及び全従業員への周知 2. 経営における課題とチャンスの明確化 3. 環境管理責任者の任命 4. 環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 5. エコアクションシステムの総合評価と見直し
環境管理責任者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営システムの構築と運用 2. 実施体制の構築 3. 環境経営目標・環境経営計画書/実績表の作成、取り纏め 4. 教育・訓練計画の立案と実施の指示 5. 環境上の緊急事態への準備・対応 6. 環境経営レポート作成 7. 環境活動の取組み結果を代表者へ報告
EA21事務局	<ol style="list-style-type: none"> 1. エコアクション21の推進 2. 進捗管理のデータ収集、整理及び環境への負荷及び取組チェック実施 3. 環境関連法規等の取り纏め表作成及び遵守評価実施 4. 環境関連書類の管理 5. 部室・営業所との連絡、情報共有
部室長・営業所長	<ol style="list-style-type: none"> 1. EA21事務局からの連絡・指示事項を受け環境経営システムの適切な実施 2. 従業員に対する環境経営方針の周知
従業員	<ol style="list-style-type: none"> 1. 環境経営方針の理解 2. 環境への取組みの実践

5. 環境経営目標

基準年度は、2023年6月～2024年5月

基準年より、毎年△1%を削減目標とする。

◆本社/東京営業所

項目	単位	基準年	目標値		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	6,215	6,153	6,091	6,029
CO2排出量	kg-CO2	3,151	3,119	3,088	3,056
ガソリン使用量の削減	L	4,172	4,130	4,089	4,047
CO2排出量	kg-CO2	9,680	9,583	9,486	9,390
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	2,420	2,396	2,372	2,347
軽油使用量の削減	L	43,375	42,941	42,508	42,074
CO2排出量	kg-CO2	111,909	110,790	109,671	108,552
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	13,989	13,849	13,709	13,569
一般廃棄物排出量の削減	kg	427	423	418	414
水使用量の削減	m ³	86	85	84	83
再施工店舗の件数削減	件数	32	32	31	31

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]4台 [軽油車]8台

◆静岡営業所

項目	単位	基準年	目標値		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	2024年7月より移転に伴い、基準となる数値なし			
CO2排出量	kg-CO2				
ガソリン使用量の削減	L	4,594	4,548	4,502	4,456
CO2排出量	kg-CO2	10,659	10,552	10,446	10,339
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,553	3,517	3,482	3,446
軽油使用量の削減	L	21,086	20,875	20,664	20,453
CO2排出量	kg-CO2	54,403	53,859	53,315	52,771
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	13,601	13,465	13,329	13,193
一般廃棄物排出量の削減	kg	58	57	57	56
水使用量の削減	m ³	計測不能	－	－	－
再施工店舗の件数削減	件数	2	2	2	2

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]3台 [軽油車]4台

◆鈴鹿営業所

項目	単位	基準年	目標値		
		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	12,935	12,806	12,676	12,547
CO2排出量	kg-CO2	7,101	7,030	6,959	6,888
ガソリン使用量の削減	L	6,240	6,178	6,115	6,053
CO2排出量	kg-CO2	14,477	14,332	14,187	14,043
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,619	3,583	3,547	3,511
軽油使用量の削減	L	74,174	73,432	72,691	71,949
CO2排出量	kg-CO2	191,369	189,455	187,542	185,628
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	17,397	17,223	17,049	16,875
一般廃棄物排出量の削減	kg	343	340	336	333
水使用量の削減	m ³	計測不能	－	－	－
再施工店舗の件数削減	件数	3	3	3	3

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]4台 [軽油車]11台

5. 環境経営目標

基準年度は、2023年6月～2024年5月

基準年より、毎年△1%を削減目標とする。

◆河芸事業所		基準年	目標値		
項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	4,069	4,028	3,988	3,947
CO2排出量	kg-CO2	2,063	2,042	2,022	2,001
ガソリン使用量の削減	L	0	0	0	0
CO2排出量	kg-CO2	0	0	0	0
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	0	0	0	0
軽油使用量の削減	L	180,762	178,954	177,147	175,339
CO2排出量	kg-CO2	466,366	461,702	457,039	452,375
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	51,818	51,300	50,782	50,264
一般廃棄物排出量の削減	kg	461	456	452	447
水使用量の削減	m ³	211	209	207	205
再施工店舗の件数削減	件数	0	0	0	0

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]0台 [軽油車]9台

◆堺営業所		基準年	目標値		
項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	12,864	12,735	12,607	12,478
CO2排出量	kg-CO2	6,522	6,457	6,392	6,326
ガソリン使用量の削減	L	8,947	8,858	8,768	8,679
CO2排出量	kg-CO2	20,757	20,549	20,342	20,134
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,460	3,425	3,390	3,356
軽油使用量の削減	L	77,492	76,717	75,942	75,167
CO2排出量	kg-CO2	199,929	197,930	195,930	193,931
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	16,661	16,494	16,328	16,161
一般廃棄物排出量の削減	kg	325	322	319	315
水使用量の削減	m ³	580	574	568	563
再施工店舗の件数削減	件数	把握できず	-	-	-

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]6台 [軽油車]12台

◆総合計		基準年	目標値		
項目	単位	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
電力使用量の削減	kWh	36,083	35,722	35,361	35,001
CO2排出量	kg-CO2	18,837	18,649	18,460	18,272
ガソリン使用量の削減	L	23,953	23,713	23,474	23,234
CO2排出量	kg-CO2	55,573	55,017	54,462	53,906
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,269	3,236	3,204	3,171
軽油使用量の削減	L	396,889	392,920	388,951	384,982
CO2排出量	kg-CO2	1,023,976	1,013,736	1,003,496	993,257
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	23,272	23,039	22,807	22,574
一般廃棄物排出量の削減	kg	1,614	1,598	1,582	1,566
水使用量の削減	m ³	877	868	859	851
再施工店舗の件数削減	件数	一部把握できず	-	-	-

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]17台 [軽油車]44台

6. 環境経営目標の実績

基準年度は、2023年6月～2024年5月
基準年より、毎年△1%を削減目標とする。

◆本社/東京営業所

項目	単位	基準年	目標値	実績値	目標達成状況
		2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	6,215	6,153	6,175	△
CO2排出量	kg-CO2	3,151	3,119	3,131	
ガソリン使用量の削減	L	4,172	4,130	2,350	○
CO2排出量	kg-CO2	9,680	9,583	5,453	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	2,420	2,396	1,818	
軽油使用量の削減	L	43,375	42,941	44,276	×
CO2排出量	kg-CO2	111,909	110,790	114,232	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	13,989	13,849	14,279	
一般廃棄物排出量の削減	kg	427	423	469	×
水使用量の削減	m ³	86	85	92	×
再施工店舗の件数削減	件数	32	32	31	○

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]4台 [軽油車]8台 / 2024年度[ガソリン車]3台 [軽油車]8台

◆静岡営業所

項目	単位	基準年	目標値	実績値	目標達成状況
		2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	2024年7月より移転に伴い		3,408	-
CO2排出量	kg-CO2	基準となる数値なし		1,450	
ガソリン使用量の削減	L	4,594	4,548	3,887	○
CO2排出量	kg-CO2	10,659	10,552	9,017	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,553	3,517	3,006	
軽油使用量の削減	L	21,086	20,875	28,064	○
CO2排出量	kg-CO2	54,403	53,859	72,404	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	13,601	13,465	12,067	
一般廃棄物排出量の削減	kg	58	57	68	×
水使用量の削減	m ³	計測不能	-	-	-
再施工店舗の件数削減	件数	2	2	4	×

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]3台 [軽油車]4台 / 2024年度[ガソリン車]3台 [軽油車]6台

◆鈴鹿営業所

項目	単位	基準年	目標値	実績値	目標達成状況
		2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	12,935	12,806	13,221	×
CO2排出量	kg-CO2	6,558	6,492	6,703	
ガソリン使用量の削減	L	6,240	6,178	3,912	○
CO2排出量	kg-CO2	14,477	14,332	9,076	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,619	3,583	1,815	
軽油使用量の削減	L	74,174	73,432	65,586	○
CO2排出量	kg-CO2	191,369	189,455	169,213	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	17,397	17,223	15,383	
一般廃棄物排出量の削減	kg	343	340	396	×
水使用量の削減	m ³	計測不能	-	-	-
再施工店舗の件数削減	件数	3	3	0	○

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]4台 [軽油車]11台 / 2024年度[ガソリン車]5台 [軽油車]11台

※目標達成状況：○目標達成 △目標未達但し基準年比減 ×いずれも未達

6. 環境経営目標の実績

基準年度は、2023年6月～2024年5月
基準年より、毎年△1%を削減目標とする。

◆河芸事業所		基準年	目標値	実績値	目標達成状況
項目	単位	2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	4,069	4,028	5,158	×
CO2排出量	kg-CO2	2,063	2,042	2,615	
ガソリン使用量の削減	L	0	0	0	○
CO2排出量	kg-CO2	0	0	0	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	0	0	0	
軽油使用量の削減	L	180,762	178,954	168,791	○
CO2排出量	kg-CO2	466,366	461,702	435,481	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	51,818	51,300	48,387	
一般廃棄物排出量の削減	kg	461	456	478	×
水使用量の削減	m ³	211	209	169	○
再施工店舗の件数削減	件数	0	0	0	○

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]0台 [軽油車]9台 / 2024年度[ガソリン車]0台 [軽油車]9台

◆堺営業所		基準年	目標値	実績値	目標達成状況
項目	単位	2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	12,864	12,735	11,601	○
CO2排出量	kg-CO2	6,522	6,457	5,882	
ガソリン使用量の削減	L	8,947	8,858	3,331	○
CO2排出量	kg-CO2	20,757	20,549	7,729	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,460	3,425	1,288	
軽油使用量の削減	L	77,492	76,717	54,485	○
CO2排出量	kg-CO2	199,929	197,930	140,572	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	16,661	16,494	11,714	
一般廃棄物排出量の削減	kg	325	322	284	○
水使用量の削減	m ³	580	574	371	○
再施工店舗の件数削減	件数	把握できず	-	67	-

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]6台 [軽油車]12台 / 2024年度[ガソリン車]6台 [軽油車]12台

◆総合計		基準年	目標値	実績値	目標達成状況
項目	単位	2023年度	2024年度	2024年度	
電力使用量の削減	kWh	36,083	35,722	39,563	×
CO2排出量	kg-CO2	18,294	18,111	19,782	
ガソリン使用量の削減	L	23,953	23,713	13,480	○
CO2排出量	kg-CO2	55,573	55,017	31,275	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	3,269	3,236	1,840	
軽油使用量の削減	L	396,889	392,920	361,202	○
CO2排出量	kg-CO2	1,023,976	1,013,736	931,902	
1台あたりのCO2排出量	kg-CO2	23,272	23,039	20,259	
CO2排出量 総合計	kg-CO2	1,097,843	1,086,865	982,959	○
一般廃棄物排出量の削減	kg	1,614	1,598	1,695	×
水使用量の削減	m ³	877	868	632	○
再施工店舗の件数削減	件数	一部把握できず	-	102	-

※車両台数・・・2023年度[ガソリン車]17台 [軽油車]44台 / 2024年度[ガソリン車]17台 [軽油車]46台

※目標達成状況：○目標達成 △目標未達但し基準年比減 ×いずれも未達

※1 その他都市ガスにおけるCO2排出量（実績値）

（本社/東京営業所4kg-CO2、静岡営業所7kg-CO2、鈴鹿営業所36kg-CO2、河芸事業所23kg-CO2、堺営業所55kg-CO2）

※2 CO2排出量(実績値)の総量は、上記総合計985,907kg-CO2に都市ガス125kg-CO2を加算した986,032kg-CO2

※3 使用したCO2排出係数はR7.8.1公表の以下の調整排出係数を使用

スターティア：本社/東京営業所、鈴鹿営業所、河芸事業所、堺営業所 0.507kg-CO2/kWh
中部電力ミライズ：静岡営業所 0.440kg-CO2/kWh

7.環境経営計画・取組結果と評価、次年度の計画

項目	活動計画	評価	取組結果
二酸化炭素排出量の削減			
電力使用量の削減	節電シールの貼付	○	<ul style="list-style-type: none"> ・節電シールの貼付により従業員の意識づけができた。 ・防犯上24時間照明を点灯している営業所もあるが、不要な照明は消灯できた。 ・設定温度は遵守できているものの目標達成には届かず。引き続き継続して取り組みたい。 ・エアコンフィルター洗浄、空調機器点検は実施完了。
	昼休み消灯	○	
	空調温度（夏24℃・冬24℃）	△	
	エアコンフィルター洗浄	○	
	業務用空調機器点検	○	
	<次年度の計画> 継続して実施する。		
ガソリン使用量の削減	エコドライブ教育実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ教育実施により、従業員の意識が向上した。 ・車両点検、タイヤエア圧点検は各営業所の所長を中心に定期的実施できた。 ・全社にて削減達成。
	車両の定期点検整備	○	
	タイヤエア圧点検	○	
	<次年度の計画> 継続して実施する。		
軽油使用量の削減	エコドライブ教育実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ教育実施により、従業員の意識が向上した。 ・車両点検、タイヤエア圧点検は各営業所の所長を中心に定期的実施できた。 ・東京営業所のみ未達。売上拡大に伴い稼働率が上がり軽油の使用量が増加した。
	車両の定期点検整備	○	
	タイヤエア圧点検	○	
	<次年度の計画> 継続して実施する。		
廃棄物排出量の削減			
一般廃棄物排出量の削減	分別の徹底	○	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所に各自治体の分別カレンダーを掲示して、分別に対する意識を強化し徹底できた。 ・裏紙の利用や、印刷物は両面コピーや2in1等に設定する等工夫しコピー用紙の使用枚数が削減できた。 ・堺営業所以外の営業所は移転に伴い廃棄物量が増加したため削減未達となった。
	廃紙の資源化	○	
	裏紙の利用	○	
	コピー損紙削減	○	
	<次年度の計画> 継続して実施する。		
水使用量の削減			
水使用量の削減	節水シールの貼付	○	<ul style="list-style-type: none"> ・節水シールを貼付し、周知に努めた。 ・東京営業所以外は削減達成。
	節水に努める	○	
	<次年度の計画> 継続して実施する。車両台数の増加に伴い、目標値の設定見直しを検討する。		
環境配慮			
再施工店舗の件数削減	再施工店舗の件数削減	△	<ul style="list-style-type: none"> ・客先都合による再施工や積雪の影響があり、一部営業所では削減未達となった。
	<次年度の計画> ルール化を検討する。		

※評価：○概ね実施できた △実施したが不十分 ×計画通り実施できなかった

8.環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主たる環境関連法規等について2025年5月23日に遵法評価を実施した結果、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘も過去3年間ありませんでした。

当社に適用される主な環境関連法規は下表のとおりです。

法規等の名称	対象となる施設、作業等	遵守評価結果
廃棄物処理法	産業廃棄物	遵守
廃棄物条例（都府県）	収集運搬実績	遵守
廃棄物条例（市）	事務所ごみなど	遵守
東京都環境確保条例	アイドリングストップ	遵守
家電リサイクル法	家電4品目（事務所）	発生なし
貨物自動車運送事業法	貨物車輛（河芸のみ）	遵守
自動車Nox・PM法	ディーゼル車	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコン	遵守
資源有効利用促進法	パソコン等	発生なし

以上

9.代表者による全体評価と見直し

2025年9月25日、専務取締役、環境管理責任者で1年間の運用期間の結果を総括した。1年間で振り返ってみると、環境経営目標における運用結果から、2%の削減目標が達成困難であることが判明したため、削減目標を1%に見直した。

環境経営計画の取組は決して手を緩めることなく環境負荷低減の意識を社内醸成した結果、電力使用によるCO2削減以外はほぼ目標を達成した。

本年も、猛暑や厳寒のなか社員の健康と良質な職場環境を確保することを優先し、執務室内のエアコン設定温度も夏24°C/冬24°Cで運用を継続したことも大きい。なお、堺営業所以外の営業所で一般廃棄物排出量目標が未達だったのは、事務所移転という特殊要因があったものと分析する。

引き続き下記のような施策を継続する。

- ・ 電力使用量の削減は期間中の気温や湿度に左右されるがその日の状況に応じた細かい温度設定を心がけること。
- ・ 軽油使用量の削減は、エコドライブの励行、効率的なルート設定など検討する。
- ・ 一般廃棄物排出量の削減は、ペーパーレス化を推進する。
- ・ 水使用量の削減は、洗車時の節水を心がける。
- ・ 再施工店舗削減は、ルール策定を検討する。

社員の環境経営に対する意識は年々浸透しており、前述のような様々な施策を引き続き全社一体となって講じていきたい。

以上